

講義タイトル	界面活性剤と皮膚	学科名	臨床検査学科
		講師名	久保田耕司／准教授
		専 門	皮膚バリア機能

## 概 要

人間の最大の臓器は何だと思えますか？脳？肝臓？

実は、皮膚です。皮膚は、体重の8%を占め、血流の1/3が循環しています。体重70kgの人では、面積は1.8m<sup>2</sup>に及びます。皮膚の大きな役割は、外部からの異物の侵入を阻むことと、体内からの水分の蒸散を調節することです。これらの皮膚バリア機能は、加齢や疾患によって低下します。それ以外に、皮膚バリア機能に大きな影響を及ぼすものに、界面活性剤があります。界面活性剤は、両親媒性というユニークな性質を持つ化学物質で、多くの日用品に含まれています。皮膚バリア機能に著しい影響を及ぼすもの・そうでないもの、また、界面活性剤同士を混ぜると、皮膚バリア機能への悪影響が抑えられるものなど、様々な種類があります。

界面活性剤が皮膚バリア機能に及ぼす影響の因子やそのメカニズムを知ると、界面活性剤をより上手に使うことができます。もしかしたら、美肌にも役立つかもしれません？！